

「逃げる」と「挑む」

指宿高 新村 耕 一

日頃、何気なく使っている漢字の語源には大変興味深いものがあります。今日は「逃」（にげる）と「挑」（いどむ）についてお話しします。ともに「兆」（ちよう）という部分があります。そもそも、この「兆」とは何なのでしょう。もともとの意味は、「ヒビが入った状態」で占いの形を示しているようです。たしかに「兆」の訓読みは「きざし」ですね。占いの結果、「良いことか悪いことか」という意味なのでしょう。

「逃」の「しんによう」はどういう意味でしょうか。「しんによう」は「行く、走る」という意味があるようです。「兆し」に対して、勢よく走り出すで「逃げる」となるのでしょうか。

さて、一方で、兆に「てへん」がつくとどうでしょう。「いどむ」になりますね。「力を加えてものを曲げる」といった意味もあるようです。「逃げる」とは全く逆の意味になるのですから面白いですね。物事に対して向かっていこうとする気持ちが感じられます。

年度初めに当たり、皆さんは、それぞれ目標を立てて新たな行動を起こそうとしているのではないのでしょうか。一年生は新たな生活のスタートです。二年生、三年生は自分の進路実現や

目標の達成に向けて「何かを変えない」と思っているでしょう。新しい生活環境の中で、様々な場面に遭遇し、挑むのか逃げるのか案案することもあるでしょう。「良い兆し」、「悪い兆し」、状況判断を踏まえてのことにはなりますが、年度初めで、これまでの自分を変えたいと思っている人は、良いと思ったことや新しいことに挑戦してみることも、よいかもしれません。年度初め、願わくば、「挑む」の気持ちで過ごしてほしいと思いますので、このような話をしました。

挑

9画
挑む（チウマウ）
いどむ（イドム）

【解説】形声。音符は兆。兆は「説文」十二上に「挑むなり」とあり、力を加えてものを曲げることをいう。兆は「兆」の形で、灼けてできたひびわれの形である。力をもって他に「いど困難なことに立ち向かうこと」・挑発（刺激して事件や欲情を起すようにしむけること）のようにならうに使う。激しく躍り上がるようにとぶことを跳という。

逃

9画
逃げる（トウヘン）
にげる（ニゲル）

【解説】形声。音符は兆。兆は「兆」の形で、亀の甲に熱で勢いよくはじけてきたひびわれの形である。勢いよく足でとびあがることを跳（はねる、とぶ）という。走（はし）には行く、走るの意味があるから、勢いよく走る、走り去ることを逃とい、「にげる、のがれる」の意味となり、にげることから「さける、かくれる」の意味となる。

【用例】逃散（逃げ散る）こと。ちようさんとよみ、農民が土地を捨てて、集団で山野などへ逃げ去ること／逃走・逃奔（逃げ去ること）／逃亡（逃げて身を隠すこと）

「常用字解」 平凡社（二〇〇三年）より

の ひろば



知識は体験を

通して知恵となる

新たな取組

宇宙小（市）

中原 明 美

本校は、明治十二年二月に創立し、今年で百四十七年を迎える歴史と伝統のある学校である。

校区の合言葉は、「宇宙の子は宇宙で守り育てる」とあり、

地域全体で子供たちの成長を支えようとする強い意志が込められている。また、エッセイストのしまお・まほ氏は、「しかるより ほめて育てよ 宇宙の子」と宇宙町の看板にあった子育て標語を雑誌BRUTUS（マガジンハウス社）で紹介している。

これらの理念を基に、従来、地域社会が中心となつて進めてきたあいご会のことでもフェスタにおいて、学校も参画し、新たな取組を検討している。それは、三月末、あいごコーディネーターを自ら継続して担当したいと申し出た職員

の言葉から始まった。「最初は、何をしていたか分からず、ただ決められたことを取り組むだけだったけど、今度は、創意工夫した企画を考えたい。」と熱く語るのである。私も内心同じ気持ちだったため、後先考えずに行動を起こしてしまった。

学校における働き方改革の真逆となったが、学校と地域が連携して取り組むことで、子供たちの得る成果も大きいと考えられる。特に、「知識は体験を通して知恵となる」という考え方を軸にすれば、単なる知識の習得ではなく、実際の経験を通して、学ぶ機会が増えることになる。

例えば、企画や運営の中で積極性や責任感、コミュニケーション能力が豊かになり、非認知能力の向上等、子供の成長に寄与することとなる。

大切なのは、地域と学校が一体となって子供たちの成長を支えることであり、相互の理解と協力を深めることが成功の鍵となる。この取組を経て、「宇宙の子は宇宙で守り育てる」という理念がより強固なものとなり、子供たちが安心して学び、成長できる環境が築かれることを期待したい。

今後、地域と学校の対話を重ねながら、最も子供たちにとって良い形を模索し、双方の強みを生かした教育の場を創出していけるよう努めてまいりたい。

ヤギの学校

南永小(始伊)

新地 哲郎

本校は伊佐市にある「小規模校特別認可制度」開設校です。ヤギを三頭飼っています。「みなみ」と「マリ」と「ウミ」という名前です。みなみが親ヤギで、その子供がマイとウミです。新聞やテレビ等で取り上げてもらい、少し有名になったヤギです。ヤギの入学式をしたり、出水市の学校と姉妹盟約を結んだりしました。ちなみに前任校でも「ココア」という名前のヤギを飼っていました。

特にヤギが好きという訳ではありませんでしたが、極小規模の学校で、昼休みに子供たちが一緒に遊べればいいかなと思い、飼いはじめました。気付いたらヤギ飼育歴五年目になり、自然と、ヤギの魅力に取りつかれました。目をそらさずまっすぐに人を見つめる姿は、優しさや癒やしを与えてくれます。ヤギは人と関わるのが好きという独特な社会性をもつ動物だとも言われます。飼い始めたときは慎重で警戒心のあるヤギも、なでてあげたり餌を与えたりしていると次第に人に慣れて打ち解け、触れ合いを続けることによって、ヤギから寄ってきます。しかし、気難しい顔をしているとヤギは寄ってきません。まさに非言語的なコミュニケーションの心地よさを感じ、それが子供の心にも伝われば

いいのかなと思います。

昨今は、先生たちの働き方改革や新型ウイルス感染症、鳥インフルエンザの流行などにより、動物を飼うことのハードルはかなり高いです。ましてや新たに動物を飼うなんて時代に逆行する行為かもしれません。一方でインターネットの動画やゲームに夢中になっている子供たちも多いのも確かです。

当初、みなみ一頭の予定でしたが、思いもよらないハプニングがありました。本校に来たときには、既にみなみは妊娠していました。そのおかげで子供たちは、出産に立ち会うことができ、本当に貴重な経験ができました。「育てる愛情」と「命の大切さ」を伝える動物たちも、それを感じる子供たちも、本当に感動的でした。動物飼育にしても、何にしても学校は文化の中心でありたいと思います。



日日是好日

名柄小中(大)

上江洲 照男

「日日是好日」。こ

の言葉を私は最近好きになった。むしろ

実感するようになった。たと言った方がいい

かもしれない。元来は禅の言葉であり、森下典子さんのエッセイにもなっている。茶道を題材としたこのエッセイには、「日日是好日」がお茶の教室の掛け軸に書かれた言葉として登場する。「いくら願望したところで、先のことは思うようにはいかない。先のことを心配するより、かけがえない今日一日を、精一杯生きよ。」という教えである。実際の教育現場はどうだろうか。先を見通した教師の働き掛けが問われている。授業にせよ、学校経営にせよ「ああすればよかった。」「想定不足だった。」と反省させられることが多々あり、先を見通し、あらゆることを想定し、行動することが求められている。常にせわしく、スケジュール管理、準備等に追われている感覚がある私たち教員は、様々な出来事に一喜一憂することが多く、「日日是好日」なんて考えられないという思いの人は多いのではないか。

エッセイの中に出てくるお茶の師匠は、作法を「まず、形から入り、心は後からついてくるもの。考えずにまず体で感じなさい。」と教える。先のことを考えながら、かしく立ち回ろうと

する教え子への戒めである。著者は、無心で繰り返し行っているうちに体が自然と動くことに気付かされる。「無の境地」を味わった瞬間であった。

逆に今の瞬間だけ考えているのは、例えば、子供たちの遊びであろう。他のことを考えずに遊びに集中しているから楽しいのだ。趣味でも夢中になっている瞬間は他のことを考えていない。読書でもスポーツでも、あつという間に時間が経っていることがある。これは教育の間でも必要なことである。たとえある瞬間でも教師と児童生徒が一緒になって夢中になる場面があった方がいい。不思議と他の場面でも関心・意欲が湧いてくる。

夜、床に就く前に「日日是好日」を感じられたかを自問自答しながら、今後の人生を歩んでいきたい。



読書案内



■ 棕 鳩 十 著

孤島の野犬 棕鳩十全集5

中津小(北) 西元 真一

本書の舞台は本校もある甕島。現在は立派な橋が架けられ「甕は一つ」となり、便利になっている自然豊かで穏やかな島である。

著者の作品にはよく動物と人間との温かい愛情の交流が表されている。しかし、「孤島の野犬」に収められている物語の一つ「王者の座」は全く違う。様々な厳しさが表されている。

物語はずつと昔、島が大変不便であった第二次世界大戦の頃。島に駐屯していた兵隊に軍用犬として飼われていたシェパードたちが、戦況により翻弄されながら生きていく様子

が鮮烈に描かれ、胸に迫るものがある。

戦争の愚かさや人間の身勝手さ、命の大切さなど、著者が伝えたかったであろう強い思いが響いてくる。

久保田彦穂さん（椋鳩十さんの本名）は、本校校歌の作詞も手がけられている。その歌詞の最後は、「世界の子らと手をくまん」で結ばれており、そこからは校歌の枠を超えて、平和な世界の担い手として生きていってほしいという未来の子供たちへのメッセージも受け取ることができる。

現在でも甕島には防衛のための最前線のレーダー基地があり、私たちの安全と安心を守っている。世界中では今なお戦争や様々な悲惨な事件が起こっている。「孤島の野犬」と同じく大戦直前に発表された作品「大造じいさんとガン」は、今でも小学校五年生国語の教科書に載っており、愛や勇氣、優しさの大切さを伝えている。

これらの事実や意味を改めて考えながら本書を読み返すことは、鹿兒島ゆかりの動物作家椋鳩十さん生誕百二十年であり、戦後八十年のこの節目の年にあつて意義深いことではないだろうか。

ポプラ社 千五百円

■ 齋藤 孝 著

不機嫌は罪である

原田小（隅）伊 藤 啓 博

令和六年度鹿兒島県道徳教育フォーラムにおいて、教育実践研究家の肩書きを持つ、菊池省三先生の講演が行われた。笑いあり、納得させられ、考えさせられ、お話に見事に引きつけられながら、学ばせていただき、実りある充実した時間を過ごさせていただいた。その中で、本の紹介もあった。それがこの「齋藤孝著『不機嫌は罪である』」である。帯には「上機嫌は今や『職務』です!」とあった。インパクト絶大の書名と帯の言葉。読み進めていくうちに、気付くと、にやにやしていたり、心が痛かったり、だよなあと思ったり…。「慢性的な不機嫌に陥っているおじさんたち」「特段不機嫌というわけでもないのに、不機嫌に見えてしまうのです。」「『加齢臭』ならぬ『不機嫌臭』が発生している状態」「『上機嫌』バカ」「『不機嫌』知的」という構図をすてること。「上機嫌な職場は、離職率も低くなり、仕事の効率が上がるのです」「あなたが上機嫌になれば、周りも上機嫌に変わっていく」…気になった言葉を挙げたらきりがあ

りません。

現在、歌っただけでもコンプラ違反、不適切にもほどがある、と言われている、映画「カサブランカ」（一九四二年〔昭和一七年〕の作品）のことを歌った、一九七九年にリリースされた沢田研二さんの「カサブランカ・ダンディ」。「ボギー、あなたの時代はよかった」…いつの時代も時は流れています。今や時は「令和」。やはり「不機嫌は罪」なようです。上機嫌でいきましよう!

ちなみに私は、「D」とは何か? 「ONE PIECE」の正体も気になって仕方がない今日この頃です。

角川新書 八百四十円

■ 蒔田晋治 著

教室はまちがうところだ

金久中（大）当 田 進 一

「人生百年時代」、これはリンダ・グラットンとアンドリュー・スコットが著者の「LIFE SHIFT」で使われていた言葉です。

目の前にいる子どもたちは、予測困難な社会で、その時その場所で多様な価値観の人と協働し、最適な答えや納得のいく答えを生み出していく力を身に付けていく必要があります。そのためには、成功や失敗の体験がとても重要だと思われます。私たち教職員も同じで、常に新しい考えを吸収し、互いの「価値観」をすり合わせ、成功や失敗を積み重ねながら試行していくことが、子どもたちの未来を支えることにつながると思われます。

「教室は間違うところだ！」

一度は、手にしたことがある絵本だと思います。いつも新鮮な気持ちになり、自分自身の姿勢を振り返ることができる絵本です。

「学校は間違うところだ」、「学級は間違うところだ」、「生徒会は間違うところだ」、「部活動は間違うところだ」としてもいいと思います。そうすると、私たちも少し肩の力が抜け、子ども主体の取組につながっていくと思われます。管理職になってから、職員通信でいつも次のことを伝えています。

私たち教師が「子どもたちのために」と思って実践してきたことが、実は子どもたちの主体性や可能性を奪っていないでしょうか？教師が、積み上げてきた「価値観」のみで企画や資料作成をしてしまうと、生徒が失敗をしながら学ぶチャンスを逃してしまいます。「子どもたちは、有能な学び手である」という原点を忘れ

ず、私たちは、ファシリテータ的な役割として学びを支えていきましょう。

子どもをど真ん中に置いて思い切ってやってみてください。責任は取ります！

子どもの未来社 千六百五十円



■ 竹下和男 著

お弁当を作ったら

桜丘西小(市)田 中 省 一

『お弁当を作ったら』

『お弁当を作ったら』の著者は、香川県綾南町立滝宮小学校に校長として赴任した際、食べ残しの多い子どもたちに、多くの人々が関わりながら大変な苦勞をして作っている給食の大切さを気付かせることが校長の仕事だと考えた。そして、子ども自身がお弁当を作ったら、毎日食べている給食のありがたさに気付くのではという発想から、子どもが作る『お弁当の日』を始めた。

子どもが作る『お弁当の日』は、メニューから買い出し、料理、片付けまで全て子どもが自分ですること、大人は出来具合を批評も評価も

しないことがルールらしい。幸いにも私は竹下氏の講話を直接聞ける機会があり、お弁当を作る、つまり、料理をすることの大切さ、成果を知ることができた。

竹下氏は講演の中で、自分でお弁当を作る過程で、家族・生産者・命への感謝の気持ちをもてるようになること。さらに、思考力・自己決定力・自己有用感等の非認知能力も育むことができる」と述べた。

この本には、子どもが作る『お弁当の日』に取り組んだ学校の児童やその家族、教職員の実話が収められている。母親が作ったお弁当を持って行った男の子や、コンビニ弁当をそのまま持って行った先生が、友達との関わり、幼いころの家族との思い出から、お弁当を自分で作るようになる心の変容は、時間を忘れてスラスラ読める。

お弁当には、材料の『有形の栄養』以上に、作った人の『無形の栄養』、つまり、愛情がぎゅっしり詰まっているから、開けた時の笑顔が生まれるのではないか。手っ取り早く食事を済ませることができる時代にあって、つながりや絆を伝え、感じ取ることができるお弁当には、手間暇かける人間関係づくりの大切さや楽しさを垣間見ることができることに気付かせてくれる一冊である。

共同通信社 千百円

ある刑事ドラマの主人公が、話の中で「僕の悪いクセ。」と話す場面がある。その主人公は、細かいところが気になることを自分の悪い癖と認識しているが、その癖があるからこそ事件が解決されていく。

私にも役に立つ癖があればと思うが、残念ながら私の場合は趣味が育たない悪癖だ。

その癖とは、自分のやり方でやってしまうこととであり、すぐに周り比べてしまうことだ。癖が付いてしまった原因についてはいろいろと考えられるが、改めて振り返ると、左利きであったことが大きかったように思う。

小学生の頃、硬筆を習っていた。自分から習いたいと言ったわけではなく、文字を書くことが苦手だった父から半ば強制されたことが理由で、嫌々やっていたところがあった。

しかも習い事とは名ばかりで、自宅で練習清書し、それを提出すると、各級に名前が記載された冊子が届いて進級を知るといったものだったと記憶している。

思うに、利き手で行うことが上達の条件にあるような習い事で、まして私は右手で書くように矯正されていたので、それがハンディキャップになっていた。

しかし、小学生の私にそんな意識があるはずもなく、どうやったら同級生のようにさらさらときれいな文字を書くことができるのだろうとないう知恵を絞っては考え、それを試してみるところ一つ目の悪い癖、自己流での取組が始まった。

趣味・文芸



悪癖、趣味を育てず

持松小(始伊) 後

藤 豊 仁

最初のうちは順調に進級した。しかし、自己流では限界がある。一定のレベルまで達するとそこからなかなか上達できず、基礎をしっかりと教えてもらっているだろう友達は順調に進級していった。そうなってくると、二つ目の悪い癖が頭をもたげてくる。周り比べて、すっかり自信が持てなくなり、やる気を失ったのだ。父親の手前もあり、小学校卒業まではどうにか続けられたが、思うような結果が出ないまま二つの悪癖だけが身に付いてしまった。

中学に進学すると、運動することが好きになつていたので卓球部に入学した。その頃ようやく左利きの特性が分かってくつていたので、それ

めるといふ悪循環に陥ってしまうことが、ある意味習慣化されていたのだ。

何事もやってみるといふ性格なので、その後も懲りずにソフトテニスやボウリング、ビリヤード、釣り、若い頃は車やブランド物の洋服に夢中になることもあった。しかし、どれもそこそこできたり、分かったりすると、これまでの経験からそれで満足できるようになり、それ以上にのめり込む気持ちが湧かなかった。

こうして改めて文章にすると、理由はさて置き、結局は趣味と言えるものが見付けられなかったなあの思いがある。しかし、これを前向きに捉えたと、広く浅くいろいろなことを知り、

楽しんでこられたことで、悪いと思つていた二つの癖も、実はよかったのかもしれない。

今になって思うのは、趣味は周り比べるものではなく、自分が熱中して永く続けられるものということ

だ。

私には長年連れ添っている妻がいるが、お互いに現役の教員であり、今は離れて暮らしている。妻は温泉好きだ。幸い今の赴任先は、鹿児島でも有数の温泉地、霧島市の牧園町である。

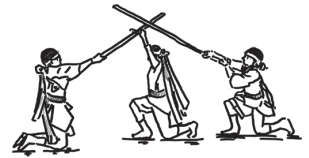
まだ互いに忙しい身ではあるが、子育ても終わったことだし、そろそろ温泉巡りでもしてみないかと伝えてみようか。そしてゆつくりと湯船に浸かりながら、広く浅く知ったことから、本当に好きなことを趣味として見付け、今度は周りに左右されずに没頭したいと思つている。

～大好きな町

南種子町!!

南種子中(熊)

宮 元 康 潤



昭和二十二年南種子町では、中平中、荃南中、西野中、島間中、平山中の五つの中学校が、新制中学校として設置されました。その後、社会情勢が徐々に変化し、過疎の進行に伴う生徒数の減少や学校教育における様々な諸課題が生じたことから、この状況に対する対応及び新たな教育振興を図るため、町内の中学校五校が統合し、「南種子町立南種子中学校」として、平成六年四月六日に開校しました。

南種子中学校は、種子島の南部に位置し、南種子町のほぼ中央の高台にあります。校区内には鉄砲伝来の地「門倉岬」や国指定文化財の「広田遺跡公園・ミュージアム」、種子島宇宙センターがあります。

また、西方には、世界遺産の「屋久島」を、東方には「種子島宇宙センター」を望むことができます。今年で創立三十二周年を迎える中学校です。生徒数は、百二十三人（男子七十三人、女子六十人）の中規模校で、学級数は一年一クラス（四十人）、二年二クラス（四十六人）、三

年二クラス（四十七人）、特別支援学級二クラス（三人）となっています。

本校の生徒は、明朗快活で学校行事に燃え、何事にも熱心に取り組んでいます。保護者の方々は、とても教育熱心で、学校の教育活動にとっても協力的です。このような南種子中学校がある南種子町について、以下に紹介したいと思います。

南種子町は、種子島の南端に位置する町で、太平洋と東シナ海に面した豊かな自然環境に恵まれています。町内には「千座の岩屋」や「門倉岬」などの美しい自然景観が広がり、特に千座の岩屋は、太平洋の荒波によって形成された海蝕洞窟で、干潮時には洞窟の奥まで入ることができ、その神秘的な景観が、訪れる人々を魅了しています。年末には、「スーパープラネタリウム星の洞窟」が開催され、とても神秘的・感動的な催しです。

また、門倉岬は鉄砲伝来の地としても知られ、種子島宇宙センターの眺望も楽しめる観光スポットです。

南種子町の歴史で誰もが思い描くのは、一五四三年、ポルトガル人が種子島に鉄砲を伝えたことだと思っています。この出来事が、日本の歴史において重要な転機となったことは、皆さんもご存じのことと思います。そのポルトガル船は南種子町の前之浜に漂着しています。そこから、日本の歴史が大きく動いていきます。

文化面では、広田遺跡から出土した品々や、種子島の盆踊り（西之本国寺盆踊）など国の無

形民俗文化財に指定されており、地域の伝統と文化が大切に守られています。さらに、日本最大のロケット発射場及び世界一美しいロケット発射場である「種子島宇宙センター」は、日本の宇宙開発の最前線として知られ、町の文化と技術の融合を象徴しています。

産業面では、南種子町の主要産業は農業で、特に稲作が盛んです。温暖な気候を活かし、国内で最も早くコシヒカリの出荷が行われています。また、甘藷栽培やさとうきび、漁業も重要な産業であり、地域の経済を支えています。さらに、種子島宇宙センターがあることで、観光業も発展しており、ロケット発射の際は、多くの観光客が訪れています。

南種子町内では、年間を通じて様々な行事が開催されています。宝満神社の御田植祭や八月に行われるロケット祭などです。特に、ロケット祭の昼の部では、地元の保育園児や幼稚園児、各地区の子ども会や神輿パレードや青年による山車曳きや各種団体の道中踊り等が行われます。夜の部では町内の文化団体による発表や、ゲスト歌手を迎えたステージショーが開催されます。その後、祭の最後を飾る一万発を超える花火が打ち上げられ、花火の美しさとその迫力にとっても感動します。

南種子町は、自然の美しさと歴史的な遺産、豊かな文化と多様な産業が調和した魅力的な地域です。訪れる人々にとって、ここでの体験は、忘れられないものになると思いますので、ぜひ一度は、訪れていただきたいと思います。

専門部だより

研究部から、鹿児島県小・中学校校長研究大会についてのお知らせとお願いです。

新型コロナウイルスの影響により、令和二年度からの三年間、研究大会の開催を見送り、令和五年度に再開しました。その際、それまで二日間にあわため開催してきた研究大会を一日開催に変更して実施しました。大会後のアンケート結果では、一日開催に変更してよかったと回答した割合が七割を超えており、新たな大会の在り方として受け止められたものと捉えたとことです。引き続き、今年度も一日開催とし、短期間でありながらも大会主題に迫る実りある研究大会となるよう本部と連携を取りながら鋭意準備を進めているところです。

また、本年度は、大会会場をホテルから公共施設に移して開催します。運営面の課題を解決しながら、令和の時代における新たな学校経営の在り方を共に考え、本県学校教育の一層の充実発展を期するべく研究部としての取組を進めてまいります。参加される皆さんには、分散会場となることで何かと不便を来す面もあるかと思いますが、御理解と御協力のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、詳細については、各地区の研究部長を通じて連絡する予定です。

令和七年度

各種研究大会

(予定等) について

鹿児島県小・中学校校長研究大会

一 大会主題

「あしたを拓き、心豊かでたくましく生きる人間の育成を目指す学校教育の創造」

二 期日

令和七年十一月十四日(金)の一日開催

三 会場

宝山ホール

カクイックス交流センター(県交セ)

県立図書館

鹿児島市教育総合センター等

四 内容等

公共施設を利用した分散会場での開催となります。具体的な内容、日程等については検討中です。

第七十七回 全連小・九小協福岡大会

一 大会主題

「自ら未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

二 期日

令和七年十月十六日(木)～
令和七年十月十七日(金)

三 発表割当

第十・十三分科会

※ 全連小福岡大会は、九小協福岡大会と兼ねて開催されます。

第七十六回 全日中香川大会

一 大会主題

「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」

二 期日

令和七年十月二十三日(木)～
令和七年十月二十四日(金)

三 発表割当

第七分科会

※ 全日中香川大会は、中国・四国校長会研究大会と兼ねて開催されます。

第七十六回 全九中熊本大会

一 大会主題

「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」

二 期日

令和七年八月二十一日(木)～
令和七年八月二十二日(金)

三 発表割当

第一分科会

※令和八・九年度 鹿児島大会(予定)

○令和八年度

全九州中学校長研究大会

○令和九年度

九州地区小学校長協議会研究大会

一生は人を育て 人に育てられる 連鎖である。

どんな師と出会い友を得るか
師友と高め合うことによって、
さらなる成長を遂げていく。



能野海水浴場（写真提供：種子島観光協会）

提供「僕の贈りもの 日めくりカレンダー」

松山 武史 氏



一般財団法人校長会館だより

一般財団法人の本年度の理事会・評議員会については、六月五日及び六日を予定して行いましたが、評議員会の出席委員が過半数に達しない見込みとなったため、両会とも書面開催での実施となりました。

○第39回理事会

- ・令和六年度事業報告及び決算報告
- ・任期満了に伴う理事及び監事の選任方法

この理事会については、令和七年六月十一日をもって、理事全員（十四名）の同意及び監事全員（二名）の確認により決議された。

○第30回評議員会

- ・令和六年度事業報告及び決算報告
- ・任期満了に伴う理事及び監事の選任

この評議員会については、令和七年六月十一日をもって、評議員全員（十五名）の同意により決議された。

○第40回理事会

- ・代表理事（理事長）・副理事長・常務理事の選定

この理事会については、令和七年六月十一日をもって、理事全員（十四名）の同意及び監事全員（二名）の確認により決議された。

教育長異動

○再任 令和七年七月二十四日付

東申良町 金久 三男氏

編集後記



六月に入りました。今年は記録が残る中で初めて九州南部が全国で最も早く梅雨入りをしたそうです。大雨等により学校生活に影響が出てしまわないか心配ですが、子供たちが安心・安全な学校生活を送ることができるよう願うばかりです。

令和七年度が始まり三か月が経とうとしています。年度当初に教職員や子供たちに学校教育目標への思いを伝えましたが、その思いは伝わっているのだろうかと思ったり子供たちや教職員の姿を見ながら自問自答しています。

丸い盥（たらい）に張られた水に浮かべられた一枚の葉っぱを両手でかき寄せると葉っぱは向こうへ行き、反対に両手で押すと、葉っぱはこちらへ来るといふ「盥の水」二宮尊徳翁の教えがあります。自分の考えを他の人に話すことは、考えを明確にし、整理するのに役立ちますが、自分で分かったつもりでいたことでも、いざ人に説明しようとするとうまくできないことがあります。すると自分でも何が理解できていないかがわかります。相手に伝わっているのか、どうしたら伝わるのか常に考えながら校長としての思いを伝えていきたいと思っています。

六月号をお届けします。今年度も引き続き本誌の担当をさせていただくことになり、毎回先生方の豊富な経験と見識から、多くのことを学ばせていただいています。御多用の中、玉稿をお寄せいただいた執筆者の皆様にご心からお礼申し上げます。

益満 裕美（星峯中学校）